Annual Report 2019

活動報告書　2019.4-2020.3

FRIENDS OF
EL SISTEMA
JAPAN

音楽を通して
生きる力を育む

東日本大震災後、20年、30年とかかる被災地の復興の中で、長期的に子どもたちを支えたいという思いから、福島県相馬市で最初の活動を開始しました。設立以来、被災地に限らず子どもたち自身が誇りと自信を持ち、他者とのコミュニケーションを学び、積極的に自己実現を図る力を持てるよう活動を続けています。

オーケストラやコーラス等の仲間との音楽活動に、子どもなら誰でも参加できる環境を整え、音楽を通して異年齢、異文化、異国籍の人達と交流する機会をつくります。子どもたちは、一人ひとりに役割があり、違いを超えてコミュニケーションを図れることを学びます。

それにより、自然災害や貧困、障害等どんな境遇にあっても自分自身とその周りの社会環境に誇りと自信を持ち、希望を持って人生を歩んでほしいと願います。さらには、子どもたちを中心に地域や社会が活性化されることを目指しています。

01 ごあいさつ
02 2019年度の活動状況
04 相馬子どもオーケストラ&コーラス
06 大槌子どもオーケストラ
08 駒ケ根子どもオーケストラ
10 東京ホワイトハンドコーラス
12 広報活動
14 ご協力のお願い
16 会計のご報告
18 ご協力・ご支援いただいた皆さま

ごあいさつ

エル・システマジャパンの活動への日頃からの応援に、心より感謝申し上げます。

相馬、大槌、駒ヶ根、東京の子どもたちは、2019年度は多くの発表の機会に恵まれ、国内外のアーティストや仲間と共に音楽体験を深めて一段と成長しました。

そして、2020年4月上旬、文化、言葉、身体の特徴などが異なる世界8か国から音楽を学ぶ仲間たち約250人が集まって「世界子ども音楽祭2020 in東京」が開催され、ベートーヴェンの「歓喜の歌」を奏で、歌う予定でした。この機会、そして日々の日常生活を押し流してしまった新型コロナウイルス。ほんとうに悔しいことですが、大切だったことを見つめるきっかけを与えてくれているのかもしれません。それは、練習や発表の場が、大好きな歌と表現に触れる時間であり、自らが向上できる喜びであり、先生や学校以外の友だちと過ごす機会であり、どれも一人一人の子どもにとって特別な時間だったと思うのです。顔を合わせ皆で学ぶことの楽しさ、新しいことへの挑戦、つながっていることの安心、わかちあうことの喜び、安らぎを実感する平和。太古の昔から、人が、心や体の繋がりを求め各々の感情を表現しようとしたのが、芸術であり音楽ではないかと考えます。子どもたちが向き合ってきたベートーヴェン交響曲第9番。シラーの詩の有名なサビの部分に、「あなたの魔法の力は、世の中の時流が厳しく分け隔てていたものを、再び結びつける(Deine Zauber binden wieder, Was die Mode streng geteilt)」という部分があります。

新型コロナウイルスは、都市部だけでも、日本だけでもなく、世界規模の大きな試練となってしまいましたが、今こそ、誰もが自分を磨き、他者を思う時間を持つべきではないでしょうか？きっといつの日か困難を克服し、新しい地平を開きうるものだと思います。

引き続きあたたかい応援をいただければ幸いです。

エル・システマジャパン 代表理事
菊川 穣

【菊川穣 略歴】
1971年神戸生まれ。95年ロンドン大学ユニバーシティカレッジ卒業。96年同大学教育研究所政策研究修士課程終了。その後、98年よりユネスコ 南アフリカ事務所にて教育担当官。2000年よりユニセフ レソト、エリトリア事務所において、青少年、子ども保護、およびエイズ分野を担当。07年より日本ユニセフ協会にて勤務。11年3月より東日本大震災緊急支援本部チーフコーディネーターとして支援活動を指揮。12年3月に一般社団法人エル・システマジャパンを設立、代表理事に就任。

南米ベネズエラで始まった
社会変革を目指した音楽教育
「エル・システマ」

1975年に始まった活動は、シモン・ボリバル音楽財団によって展開され、現在、約100万人の子どもたちがベネズエラ国内の約300のオーケストラ&コーラスに参加しています。その理念に共感した活動は、世界70ヶ国以上の国、地域に広がり、それぞれ、地域の特性や社会環境に応じて独自に発展し、展開されています。

2019年度の活動状況

エル・システマジャパンは、3つの支援策を柱に、
各地やグループの状況に応じた支援を行っています。

1 直接的な支援
（子どもオーケストラ、子どもコーラス、作曲教室）

2 学校を通じた支援
（部活動支援、音楽事業支援、専門家の派遣）

3 総合的な支援
（楽器の購入・修繕）

学校での支援などを含めて、エル・システマジャパンが支援した子どもたち　約2,300人

相馬子ども オーケストラ&コーラス

協力協定：福島県相馬市

週末音楽教室 参加者数(2020年5月現在)

	オーケストラ	コーラス
小学生	28名	2名
中学生	29名	17名
高校生	19名	11名
合計	76名	30名

日々の活動

管楽器教室、
弦楽器教室(初級)、
弦楽器教室(中上級)、
弦楽器自主練習会、
合唱教室を　各週1回

学校への部活動支援として、
バイオリンの出張指導を　週2回

学校への支援

相馬市内小学校：9校

練習場所

相馬市民会館など：5か所

支援人数(学校への支援を含む)

約2,000名

大槌子ども オーケストラ

協力協定：岩手県大槌町

週末音楽教室 参加者数(2020年5月現在)

	オーケストラ
小学生	24名
中学生	2名
高校生	2名
大人	7名
合計	35名

日々の活動

弦楽器教室を
週5回

学校への支援＋部活動支援

町内の小・中一貫校：2校

練習場所

町内の子ども向け施設など4か所

支援人数(学校への支援を含む)

約50名

駒ヶ根子ども オーケストラ

協力協定：長野県駒ヶ根市

週末音楽教室 参加者数(2020年5月現在)

	オーケストラ
小学生	69名
中学生	14名
合計	83名

日々の活動

グループレッスン
弦楽器教室を
各週1回

練習場所

駒ヶ根市文化会館など3か所

支援人数(イベントでの楽器体験参加者などを含む)

約250名

東京 ホワイトハンドコーラス

共催：東京芸術劇場
協力：社会福祉法人トット基金

週末音楽教室 参加者数(2020年5月現在)

	サイン隊	声隊
小学生	14名	22名
中学生	1名	3名
高校生	5名	
合計	20名	25名

日々の活動

隊ごとの練習を週1回、
状況に応じて合同練習も実施

練習場所

東京芸術劇場など3か所

支援人数

45名

少子化の影響で部活に参加する子どもたちも減っており、特に地方部ではその影響が顕著です。エル・システマジャパンは、地域に開かれた音楽活動を行うだけでなく、学校への支援も行うことで、より多くの子どもたちが芸術や音楽にふれる機会をつくっています。また、障害のある子どもたちが、自分らしさを大切にした表現による音楽活動も行っています。

相馬子ども
オーケストラ
＆コーラス

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019/Dai Takaaki

オーケストラ、コーラス、管楽器メンバー
それぞれが大活躍の1年になりました

相馬子どもオーケストラ&コーラスは、毎年楽しみに待っていてくれる仲間やお客様に演奏を届けつつ、新たな発表の場にも活躍の幅を広げました。

オーケストラは東北の復興を支援する「いわて・みやぎ・ふくしまフェスタ」での演奏、恒例となった那覇ジュニアオーケストラとの共演のほか、管楽器メンバーや楽器を始めて間もない弦楽器初心者メンバーも地域の多くのイベントに出演し堂々と演奏を披露しました。

コーラスは、日露交流年閉会式の「クロージングセレモニー記念コンサート」、「第20回北とぴあ合唱フェスティバル」への出演など、相馬市内はもちろん大阪や東京など日本全国を飛び回る1年となりました。

また、毎年市内すべての小学校で実施している琴鑑賞教室・体験教室や、珍しい口笛鑑賞教室の実施など、引き続きすべての子どもたちが音楽に触れる機会の創出にも努めています。

昨年の台風19号の浸水被害では練習中止を余儀なくされ、そして新型コロナウイルスの影響で毎年の集大成である「第6回子ども音楽祭中止となるなど、予期しない困難に直面した1年。それでも音楽の灯りを絶やさず、今は仲間とステージで演奏できる日を心待ちにしながら、練習に励んでいる子どもたちです。

大槌子ども
オーケストラ

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019/Takaaki_Dai

これまでの活動を基盤とし、さらに様々な挑戦をした大槌子どもオーケストラ

今年度も大槌町内で開催される多くイベントに参加しました。大きなイベントとしては、「風の電話音楽祭」や「TSUNAMIバイオリンコンサート」など震災を伝えるコンサートに加え、大槌町文化交流センター「おしゃっち開館1周年記念イベント」での演奏や「大槌町成人式」でのアトラクション演奏など町の式典や行事でも演奏する機会をいただきました。また、12月に開催しました大槌子どもオーケストラ主催のクリスマスコンサートでは、1年の集大成として日々の練習曲を発表するだけではなく、週末教室でご指導いただいている講師の先生方や指導ボランティア（フェロー）の皆さまの支えもいただきベートーヴェンの交響曲第9番からの抜粋曲を堂々と演奏し、町民の皆さまより大きな拍手と温かい声援をいただきました。

今年度、練習会場の拠点を三陸復興国立公園（陸中海岸国立公園）の中央に位置する浪板海岸に隣接した「波板海岸ヴィレッジ」に変え、海と山に囲まれた自然に満ち溢れた環境で、未就学児から大人まで落ち着いて練習に励んでいます。講師陣も充実していて弦楽器指導ボランティア（フェロー）によるレッスンに加え、プロの音楽家による指導に触れ、演奏家としての意識向上に繋がりました。

相馬子どもオーケストラの夏期学習会への参加や、那覇ジュニアオーケストラとの共演などを通して、多くの仲間と触れ合い音楽での繋がりを感じられました。また、大槌では学校への支援活動として管楽器のプロの指導者や地元出身のアーティストが講師として、大槌学園・吉里学園の吹奏楽部15名と岩手県立大槌高校吹奏楽部9名への指導も行ってまいりました。大槌子どもオーケストラが大槌高校吹奏楽部の定期演奏会にゲスト出演をし、小・中・高校の多世代の連携や交流も盛んに行われた1年でした。

©FESJ/2019/Takaaki_Dai

駒ケ根子ども
オーケストラ

©FESJ/2019

©FESJ/2019_Tomoko Kurata

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019

フルオーケストラやコーラス、和楽器とのコラボ。
3年目を迎え、地域のみなさんと様々な音を重ねました。

3年目を迎えた駒ケ根子どもオーケストラは、中学校に進学しても続ける子どもが増え、バイオリン、ビオラに加えてチェロの体験もスタートしました。

夏には保護者の方と一緒に、音楽を身体で感じるためのワークショップを実施し、100人近くになった子どもたちが一斉に集いました。また、伊那フィルハーモニー交響楽団との共演では初めてのフルオーケストラを経験することができました。地元出身のテノール歌手、佐野成宏さんが主催する音楽祭でのロビーコンサート出演、各国の大使が集まるイベントでの演奏で、保護者の方以外にも広く演奏を聞いていただきました。

子ども音楽祭では、指揮者の静間先生を迎えての演奏、ゲスト歌手のコロンえりかさん、佐野さんと東中合唱団とクリスマスソングをコラボで演奏したり、和楽器隊とふるさとを演奏したり。様々な音楽の響きを存分に楽しみました。

学校の枠を越えて、毎週会える友だち、先生との関係性が育まれ、安心した表情で楽器を構える子ども、保護者の方も驚くようなリーダーシップを発揮できるようになった子どもなど、居場所としての機能も果たし始めた年でした。

©FESJ/2019

東京
ホワイトハンド
コーラス

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019

きこえない・きこえにくい子どもたちが中心のサイン隊と2年目を迎えた、みえない・みえにくい子どもたちの声隊

きこえない・きこえにくい子どもたちを中心としたサイン隊は、手歌のアイディアを出したいグループと手話を学びたいグループとに時々分かれるなどして、活発な練習を行いました。今年は、〈NHK〉2020応援ソングの『パプリカ』手歌バージョンを依頼され、練習会場の東京芸術劇場にて撮影された動画が、NHKのサイトに公開されています。

2年目を迎えた、みえない・みえにくい子どもたちを中心とする声隊は、ソプラノ、アルトの二声で歌えるようになりました。経験を積んだ相馬子どもオーケストラや心に花を咲かせよう合唱団が声隊の練習に訪れ、『あめつちのうた』(作詞:林望、作曲:上田真樹)を共に歌えた時には、子どもたちは、コーラスの歌声の厚みを実感できました。

9月に東京都と東京都交響楽団によるサラダ音楽祭に招待され、東京芸術劇場にて『あめつちのうた』の歌と手歌を披露しました。リハーサル終了時のひと時、子どもたちはパイプオルガンの間近へ招かれ、その重厚な響きを体験。舞台では相馬子どもコーラスのメンバーとも久しぶりに合流、終了後の交流会で、手紙の交換などをして再会を楽しみました。

11月のローマ教皇の訪日の際には、東京ホワイトハンドコーラスから歌のビデオメッセージを贈らせていただく機会を得、また1月には京都の大徳寺龍光院からご招待を受け、年長の子どもたちが、お寺の方々や論語塾に参加する親子の前で、日頃の成果を披露しました。

2020年4月の「世界子ども音楽祭2020」を目標に練習を重ねてきた『ベートーヴェン交響曲第9番』は難題への挑戦ではあるものの、ご指導の先生方の御尽力で前進をしています。また第九を手歌で歌いたいという若者・大人のメンバーも募集し、年明けより共に練習をしました。

©FESJ/2019

広報活動

Facebookページをほぼ毎日更新し、活動の様子やコンサートや番組放映のご案内、ご協力のお願いなどの広報活動を行っています。

エル・システマジャパンは、Facebookページをほぼ毎日更新し、活動の様子やコンサートや番組放映のご案内、ご協力のお願い、子どもたちの日々の練習の様子や新しい挑戦などをご紹介しています。

2019年度もTVや新聞、雑誌、Webなどのメディアに取材や掲載頂きました。

件数は、TV6件、新聞16件、雑誌2件、Web4件でした。

異なる障害のある子どもたちが協奏する東京ホワイトハンドコーラスでは子どもたちを中心に大ブームになっている＜NHK＞2020応援ソングプロジェクト「パプリカ」の『手歌』バージョンを製作。サイン隊一人一人のアイデアと気持ちを、コロンえりか先生と井崎哲也先生が、歌のリズムに合い、手話として意味が伝わるように工夫し出来あがった世界に一つの「パプリカ」。まさに、ろう者の思いがいっぱい詰まった手歌です。8月30日に放送、NHKの公式YouTubeチャンネルにて公開され現在までに約11万回再生されています。（2020年6月23日現在）。

さらにFoorinと、病気や障害のある子どもたち10人で構成された「Foorin楽団」に東京ホワイトハンドコーラスのみささんが手歌で参加。12月1日からは1ヶ月間、NHKみんなのうたで週2回放映され、ミュージックビデオは936万回再生されています。（2020年6月23日現在）。病気や、視覚、聴覚、肢体障害やダウン症等、様々なチャレンジがある子どもたちの、生き生きとした表情、動きが、本当に素敵です。多くの方からのポジティブな感想が、SNSでも、どんどんとアップされました。

11月23日に相馬子どもオーケストラの代表メンバー18名が参加した「いわて・みやぎ・ふくしまフェスタ」。館内は家族連れや外国人観光客の方々でにぎわい、子どもたちの演奏時にはその音色に引かれてどんどんと人が集まってきました。本イベントを現地取材も含めて丁寧にフォロー下さった共同通信社の配信記事を通して全国各地の地方紙でも紹介されました。

メディア掲載

掲載日		メディア区分	メディア名	記事名
2019	4/1	Web	マンスリースズキ	エル・システマ駒ヶ根発表会
	4/22	新聞	毎日新聞	夕刊　祖国ベネズエラ先に光はある
	4/29	新聞	岩手日報社	庭園に美しい音色響く　大槌で音楽祭、地元出身者ら9組出演
	5/15	雑誌	音楽現代	〈工藤一郎〉　つながれ心、つながれ力 74
	6/29	TV	テレビ朝日　ニッポンの力	#178 TSUNAMI VIOLIN ～未来へ紡ぐ優しき音色～
	8/3	TV	NHK 明日へつなげるコンサート	
	8/30	TV	NHK	東京ホワイトハンドコーラスによる「パプリカ」『手歌』バージョン
	8/30	Web リリース	PR TIMES	エル・システマジャパン『活動報告書 2018年度』発表
	9/13	Web	ステージナタリー	0歳から楽しめる「サラダ音楽祭」再び、ベイビーオペラ「ムルメリ」も
	10/1	Web リリース	PR TIMES	「世界子ども音楽祭2020 in 東京」開催 2020年4月3日（金）、4日（土）@東京芸術劇場　10月1日（火）より、チケット販売開始
	10/17	Web リリース	PR TIMES	エル・システマジャパン「相馬市楽器応援募金」受付開始
	11/3	Web	Local Book -東北ITトレンド-	3県の美味しい＆楽しいが大集合！　東北とお台場を結ぶトヨタの復興支援イベント 「いわて♡みやぎ♡ふくしまフェスタ@MAGA WEB」が11月23日、24日開催
	11/19	Web リリース	PR TIMES	相馬子どもオーケストラ 11月23日（祝・土）いわて、みやぎ、ふくしまフェスタ@MEGA WEB（東京都江東区）に出演
	11/23	新聞	高知新聞	台風で楽器水没、乗り越え演奏会　　子どもオケに国内外から支援
	11/23	Web	Yahoo!ニュース	台風で楽器水没、乗り越え演奏会　　子どもオケに国内外から支援
	11/23	新聞	上毛新聞	台風で楽器水没、乗り越え演奏会　　子どもオケに国内外から支援
	11/24	新聞	東京新聞	水没乗り越え 感謝の音色　台風被災後初コンサート　福島・相馬の「子どもオケ」
	11/24	新聞	日本経済新聞	水没乗り越え 感謝の音色　台風被災後初コンサート　福島・相馬の「子どもオケ」
	11/30	新聞	長野日報	来月7日エル・システマ子ども音楽祭2019
	11/24	新聞	福島民友	相馬子どもオーケストラ&コーラス　楽器水没乗り越え演奏
	11/24	新聞	愛媛新聞	台風で楽器水没　支援糧に演奏会　都内　福島の子ども楽団
	11/24	新聞	長崎新聞	楽器水没乗り越え演奏会　台風19号で被害　国内外から支援
	11/24	新聞	福島民報	楽器水没乗り越え演奏会　東京で相馬の中学生ら
	11/24	新聞	東京新聞	水没乗り越え感謝の音色　福島・相馬の「子どもオケ」
	11/25	新聞	河北新報	台風19号で楽器水没の被害　楽器を手に感謝の演奏　相馬・ジュニア楽団に支援の輪
	11/23	新聞	共同通信	台風で楽器水没、乗り越え演奏会　　子どもオケに国内外から支援
	12/1	TV	NHK　Eテレ	みんなのうた「パプリカ Foorin楽団バージョン」
	12/2	Web リリース	PR TIMES	エル・システマ 子ども音楽祭in 駒ケ根2019開催 2019年12月7日（土）　駒ケ根市文化会館大ホール　15時より
	12/5	雑誌	月刊 MASTERS 12月号	音楽が紡ぐのは自由と希望――　13「エル・システマ」の可能性とは
	12/8	新聞	長野日報	美しい自己表現の音色　駒ヶ根「エル・システマ」音楽祭
	12/9	Web リリース	PR TIMES	大槌子どもオーケストラ クリスマスコンサート開催 12月15日（日）大槌町文化センターにて13時30分より（全席自由・入場無料）
	12/24	TV	NHK　Eテレ	楽団ドキュメント#2「もえの×みさき」／前9:05～楽団MV紹介
2020	1/10	Web リリース	PR TIMES	シンポジウム「『評価を活かした活動』とは」1月17日（金）夜 開催 参加申込受付中
	1/31	新聞	東京新聞	共に奏でる喜び伝えるホワイトハンドコーラス
	2/3	Web リリース	PR TIMES	東日本大震災から9年、福島県相馬市、岩手県大槌町などの子どもたちと世界9カ国の子どもたち350人が奏でる「第9」【世界子ども音楽祭2020 in 東京開催】
	3/27	TV	NHK　Eテレ	Let's PLAY！～みんなでつくったFoorin楽団～

パプリカ 手歌　Foorin楽団関連動画再生回数 (2020年6月23日現在)

公開日		動画タイトル	再生回数
2019	8/30	＜NHK＞2020応援ソング「パプリカ」『手歌』バージョン	116,851 回
	12/2	＜NHK＞2020応援ソング「パプリカ」『Foorin楽団』ミュージックビデオ	9,394,844 回
	12/24	＜NHK＞2020応援ソング「パプリカ」『Foorin楽団』ドキュメントシリーズ Foorin楽団紹介編	595,753 回
	12/26	＜NHK＞2020応援ソング「パプリカ」『Foorin楽団』ドキュメントシリーズ もえの×みさき編	1,642,700 回
2020	2/3	＜NHK＞2020応援ソング「パプリカ」『Foorin楽団 日本賞219』ライブバージョン	1,638,136 回

©FESJ/2019

©FESJ/2019

©FESJ/2019

ご協力のお願い

さまざまな形の支援があります。
皆さまのご協力をお待ちしております。

ちいさな音楽家サポーター
（毎月の寄付）

継続的なご支援を!!

子どもたちへの長期的なサポートのために、継続したご寄付は大きな支えになります。クレジットカードまたは口座振替で、月々1,000円からのご寄付を承っています（1,000円単位で任意の金額になります）。安定した運営と活動のために、ご協力をお願いします。

今回の寄付
（単発の寄付）

継続や定額でないご寄付も、ありがたくお預かりしています。「番組を見て応援したくなって」「誕生日の記念に」「お返しの代わりに」など、さまざまなタイミングでご寄付をいただいております。クレジットカードやコンビニ、Pay-easyなどオンラインや、銀行口座、郵便口座へのお振込みをお取り扱いしています。

ご支援は以下の口座より承っております

三菱UFJ銀行　玉川支店　普通　**0155133**
一般社団法人エル・システマジャパン

ゆうちょ銀行　店名 **〇一九**（ゼロイチキュウ）
口座記号 **00180-7**　口座番号 **359243**
シヤ）エル　システマジャパン

・振込手数料はご負担願います。・領収書を希望される方は、お手数ですが、別途、info@elsistemajapan.orgまでお名前、ご住所をお伝えいただけますようお願い申し上げます。・ゆうちょ銀行口座の場合は、通信欄にお名前、お電話番号、ご住所を記載ください。

楽器の寄贈

エル・システマジャパンでは、オーケストラに参加する子どもたちに無償で楽器を貸与しています。「以前は使っていたけれど今は弾いていない」という楽器がございましたら、どうぞご寄贈ください。メンテナンスをして使わせていただきます。

物品やポイントによる協力

読まなくなった書籍やDVDをご寄贈いただき、買い取ってもらうチャリボンや、Tポイントによるご寄付も受付けています。

ボランティア

弦楽器指導ボランティア（フェロー）、本部サポートボランティア（事務）や広報PRサポートインターンを募集しています。

コンサートにいく

各地で開かれる子ども音楽祭やコンサートに、ぜひお越しを!子どもたちの演奏や合唱をどうぞご鑑賞ください。コンサートの情報は、ホームページとFacebookでご案内しています。

ふるさと納税での寄付

相馬市ならびに駒ケ根市へのふるさと納税を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスまた駒ケ根子どもオーケストラの活動を支援できます。ふるさと納税では、住民税と所得税の控除を受けられるほか、相続財産の場合は相続税が非課税になります。

企業版ふるさと納税での寄付

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスの活動をご支援いただけます（相馬市以外に本社や重たる事業所がある場合に限る）。税額控除の税額控除の優遇措置により、現行の地方公共団体に対する法人の寄付に係る損金算入措置（約3割）と合わせて、寄付額の約9割に相当する額が軽減されます。

詳細や詳しい手順は、ホームページでご紹介しています。

エルシステマジャパン ふるさと納税

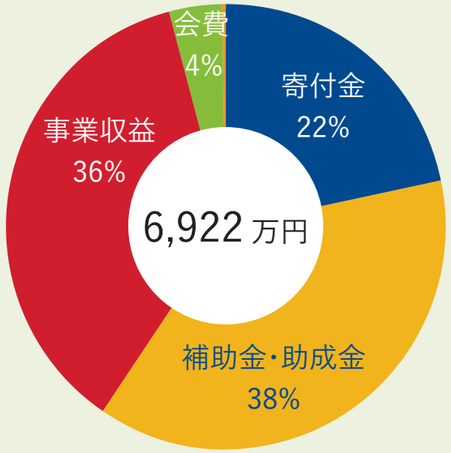
子どもたちが音楽を通して生きる力を育めるように
ホームページで詳しく紹介しています。

www.elsistemajapan.org

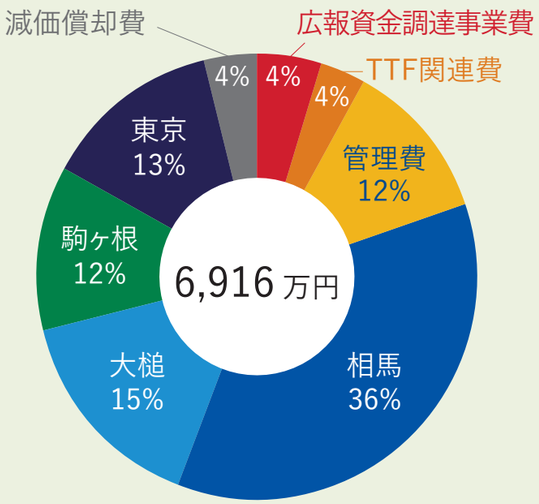
お預かりしたご支援を
大切に活用するために、

会計のご報告

収入の内訳



支出の内訳



2019年度も、多くのご支援・ご協力をお寄せいただき、エルシステマジャパンは、音楽を通して生きる力を育む事業を行いました。

今年度の活動のための収入は6,922万円でしたが、それとは別に約700万円のご寄付を、2020年度分のご寄付(相馬楽器応援のためのご寄付と、世界子ども音楽祭のためのご寄付)としてお預かりしております。

支出は、現地事業費が4分の3を占めています。地域に根差し、地域に開かれた活動を行っていくために、現地事業費により多くの財源を充当できるよう心がけています。2020年4月に予定されていた「世界子ども音楽祭2020in 東京」のための準備費用を一部支出しています。現地事業費の減価償却は、エル・システマジャパン所有の楽器と、自主練習用に開発したソフトウェア分です。

安定した運営を行っていくために、今後は、資金調達活動にもより重点を置き取り組んでまいります。

2019年度 貸借対照表

2020年3月31日現在[税込](単位:円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	
現金・預金	
現　　金	841
ゆうちょ　当座	95,531
ゆうちょ　普通	97,992
三菱東京 UFJ　普通預金	1,152,277
現金・預金 計	1,346,641
売上債権	
未　収　金	7,327,580
売上債権 計	7,327,580
その他流動資産	
前払　費用	1,885,000
仮　払　金	63,829
その他流動資産　計	1,948,829
流動資産合計	**10,623,050**
固定資産	
有形固定資産	
楽器　類	6,366,200
減価償却累計額	△ 5,796,879
有形固定資産　計	569,321
無形固定資産	
ソフトウェア	6,480,000
無形固定資産　計	6,480,000
投資その他の資産	
敷　　金	1,024,800
投資その他の資産　計	1,024,800
固定資産合計	**8,074,121**
資産の部　合計	**18,697,171**
負債・正味財産の部	
流動負債	
未　払　金	10,444,054
預　り　金	811,374
未払消費税	615,500
流動負債　計	11,870,928
負債合計	**11,870,928**
正味財産の部	
正味財産	
前期繰越一般正味財産	△ 1,639,474
前期繰越指定正味財産	1,521,400
前期繰越正味財産額　計	△ 118,074
当期一般正味財産増減額	58,571
当期指定正味財産増減額	6,885,746
当期正味財産増減額　計	6,944,317
一般正味財産	△ 1,580,903
指定正味財産	8,407,146
正味財産　計	6,826,243
正味財産合計	**6,826,243**
負債・正味財産の部　合計	**18,697,171**

2019年度　正味財産増減計算書

2019年4月1日～2020年3月31日(単位:円)

科目	事業会計	法人会計	合計
Ⅰ. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	16,080	7,920	24,000
賛助会員受取会費	1,784,210	878,790	2,663,000
受取助成金等			
受取公的助成金	0	600,000	600,000
受取公的補助金振替額	22,128,000	0	22,128,000
受取民間助成金振替額	3,296,643	100,000	3,396,643
受取寄付金			
受取寄付金(個人)	1,851,824	650,000	2,501,824
受取寄付金(企業・団体等)	4,176,000	1,450,000	5,626,000
受取指定寄付金振替額	6,377,520	650,000	7,027,520
事業収益			
受託事業収益	21,490,195	2,350,000	23,840,195
その他事業収益	0	1,385,649	1,385,649
雑収益			
雑収入	0	28,000	28,000
受取利息	0	11	11
経常収益計	**61,120,472**	**8,100,370**	**69,220,842**
(2)経常費用			
事業費			
現地事業費(相馬)計	24,908,206	0	24,908,206
現地事業費(大槌)計	10,600,298	0	10,600,298
現地事業費(駒ヶ根)計	8,194,940	0	8,194,940
現地事業費(東京)計	9,130,291	0	9,130,291
減価償却費	2,566,703	0	2,566,703
現地事業費計	55,400,438	0	55,400,438
広報資金調達事業費 計	3,453,307	0	3,453,307
TTF事業費 計	2,222,900	0	2,222,900
事業費計	61,076,645	0	61,076,645
管理費計	0	8,085,626	8,085,626
経常費用計	**61,076,645**	**8,085,626**	**69,162,271**
当期経常増減額	**43,827**	**14,744**	**58,571**
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	43,827	14,744	58,571
一般正味財産期首残高	1,383,063	-3,022,537	-1,639,474
一般正味財産期末残高	**1,426,890**	**-3,007,793**	**-1,580,903**
Ⅱ.　指定正味財産増減の部			
受取寄付、補助金等			
受取公的補助金	22,128,000	0	22,128,000
受取民間助成金	3,296,643	200,000	3,496,643
受取寄付金	12,963,266	850,000	13,813,266
一般正味財産への振替額			
公的補助金の振替額	22,128,000	0	22,128,000
民間助成金の振替額	3,296,643	100,000	3,396,643
寄付金の振替額	6,377,520	650,000	7,027,520
当期指定正味財産増減額	6,585,746	300,000	6,885,746
指定正味財産期首残高	1,508,496	12,904	1,521,400
指定正味財産期末残高	**8,094,242**	**312,904**	**8,407,146**
Ⅲ.　正味財産期末残高	**9,521,132**	**-2,694,889**	**6,826,243**

※ 財務諸表の全文は、エル・システマジャパンのホームページ(http://www.elsistemajapan.org)でご覧いただけます。

公益法人会計基準に則る　　監査:矢崎 芽生(公認会計士・税理士)

ご協力、ご支援いただいた皆さま

皆さまのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます

ご協力いただいたアーティストの皆さま

阿部なつ乃（フルート）
粟津礼子（ピアノ）
井崎哲也（サインマイム）
伊藤萌（トランペット）
上杉理香（バイオリン）
上田真樹（作編曲）
Richard Elegino（ビオラ）
大澤愛衣子（バイオリン）
岡田大和（トロンボーン）
蒲池愛（作曲）
河合尚市（指揮）
角谷千絢（ピアノ）
コロンえりか（ソプラノ）
千石進（クラリネット）
臺隆裕（トランペット）
竹森かほり（クラリネット）
佐々木庸子（合唱指導）
佐野成宏（テノール）
千田真紀（オーボエ）
静間佳佑（指揮）
高木満理子（口笛）
武澤秀平（チェロ）
土野研治（合唱指導）
戸田薫（バイオリン）
那覇ジュニアオーケストラ（管弦楽）
名和俊（コントラバス）
野間春美（ピアノ）
橋本顕一（ビオラ）
原ゆかり（バイオリン）
服山桜子（ピアノ）
藤倉大（作曲）
古橋富士雄（合唱指揮・編曲）
持田富士美（ファゴット）
柳沼恵（ピアノ）
山本大（ホルン）
山本睦（オーボエ）
ラッキィ池田＆彩木エリ（振付）
LOVE（シンガーソングライター）
Anita Lee（バイオリン）

<敬称略、五十音順>

楽器を寄贈してくださった皆さま

有限会社アトリエ・コジオ
井村よしこ
稲吉明子
落合直美
小池福順
株式会社コト
菊地満梨奈
菅原政治郎
鈴木高弘
千田洋子
竹谷宗久
中村幹雄弦楽器
西村貴子
林正人
端山啓子
松本あき
宮尾麻智子

<敬称略、五十音順>

ご支援いただいた皆さま

［あ］
株式会社会津ゼネラルホールディングス
青柳千尋
赤司展子
芦屋国際中等教育学校コーラス部
株式会社アムラックストヨタ
株式会社ECC
井上智治
岩崎慎一郎
Water Dragon Foundation
株式会社エスユーエス
江本手袋株式会社
オアシス楽器店
大谷雅子
大槌町
オザワ・アート・プランニング株式会社
Oxford University Orchestra
オリエンタルモーター株式会社

［か］
外務省
株式会社KAJIMOTO
株式会社カフキーノ
川原直
キッコーマン株式会社
Global Giving
慶應義塾大学SFC研究所
小池美喜
独立行政法人国立青少年教育振興機構
株式会社コト
小堀月浦
駒ケ根市
コロンえりか

［さ］
在日米国大使館
在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本
公益社団法人才能教育研究会
佐伯栄一
作田佳奈美
ジオアーステクノ株式会社
芝崎智子
The Think the Earth
真如苑
Seiko Ishikawa
セイコーホールディングス株式会社
相馬市
相馬市勤労者互助会
相馬市商工会議所
株式会社ソノリテ
TURKISH AIRLINES

［た］
大徳寺龍光院
田頭真理子
田中果樹園
棚澤啓介
駐日アンゴラ大使館
駐日英国大使館
駐日韓国大使館　韓国文化院
駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館
長楽館
つつじ点訳友の会
一般社団法人東京倶楽部
東京南ロータリークラブ
公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場）
東京JCコンサートクラブ
社会福祉法人トット基金
トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン

［な］
那覇ジュニアオーケストラ
仁藤里香
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本合唱指揮者協会
日本大学芸術学部
日本放送協会（NHK）
日本・ラテンアメリカ婦人協会
日本ろう者劇団

［は］
株式会社パソナグループ
原不二子
株式会社バリューブックス
廣野孝男
フェローオーケストラ
福羽泰紀
Filia GmbH
フジコ ヘミング
舟越一郎（funaco design studio）
フラワーマダムの会（駐日大使・大使夫人合唱団）
ブリティッシュ・カウンシル
文化庁
Fundamusical Simon Bolivar

［ま］
松古樹美
増田ユリヤ
マレック・シェパキエビッチ＆森桂子
株式会社ミオアンドカンパニー
三尾徹
村田大介
最上沙紀子
本江博子
文部科学省
モーションギャラリー

［や］
柳澤祐子
ヤフー株式会社
吉江一男

［ら］
ロシア文化フェスティバル組織委員会

［わ］
若林直子

<敬称略、五十音順>

2019年4月1日～2020年3月31日の間に原則5万円以上のご寄付、及びボランティアで各種技術協力を下さった個人、企業、法人のお名前を、ご本人の了承を得た上で掲載しております。